

自動化検討講習資料

～生産能力向上編 1～



農林水産省



令和7年度食品企業生産性向上推進委託事業

1. 目的 生産能力向上/生産人員改善/品質面の向上

☆重点する改善課題

1) 生産能力向上

現状 10個/分/名 30個/分

⇒目標 : 60個/分

2) 生産人員改善

現状 1名 (包装作業)

⇒目標 : 0名

3) 品質面の向上

現状 社員によって手直し作業が発生

⇒目標 : 上記の改善

2. 製品情報

1) 対象 : 3種類 (どら焼き) サイズは同じ

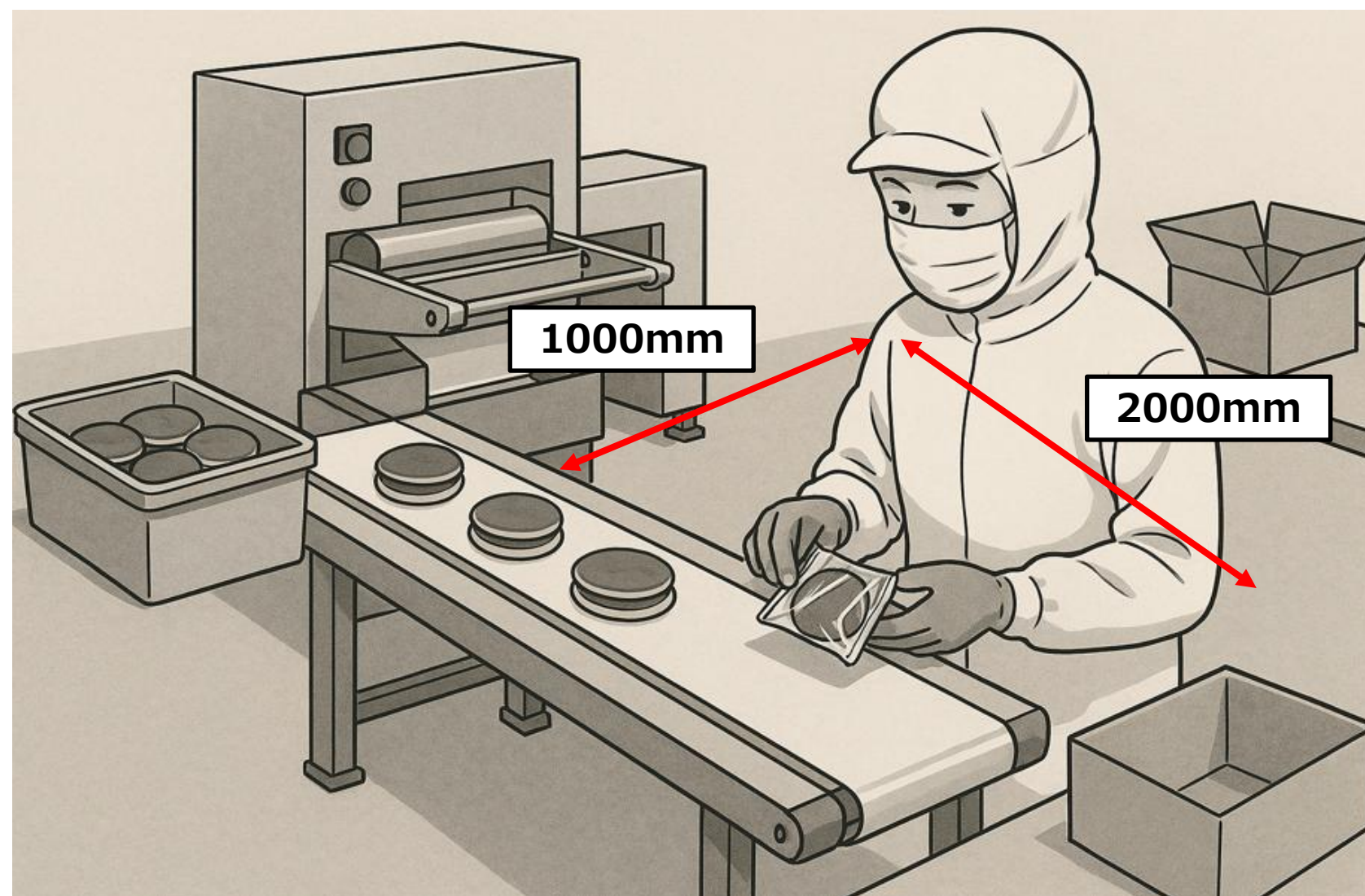
2) 生産能力 : 10個/分/名 30個/分

3) サイズ : W100×L100×H30(mm)



3. 製造ライン動画、資料、図面 (現在の作業風景)

設置可能スペース
L2000 * W1000(mm)



4. 自動化構想（メーカー選定、選定機種）



引用元：コンパクト横形ピロー包装機 FW3301 II B + 抜き取り非破壊検査機

<https://www.youtube.com/watch?v=to4jIXiJGOs>

5. 本提案による想定効果

効果	改善前	改善後	効果
省人化	1名	0名	年間改善コスト 3,500,000円
生産能力	約30個/分	約60個/分	既設比 200%
稼働時間	8時間	8時間	生産数効果 4,320,000円/日
トータル改善コスト			7,820,000円/年

投資コスト（予算）	21,000,000円
投資回収	2.6年
生産能力算出	60個/分×60分×8時間＝28,800個 28,800個/2＝14,400個（増加分） 単価300円×14,400個＝4,320,000(原価含めて)
コスト算出	¥3,500,000/名